

タイトル: 生肉、加工食品由来のDNAを鋳型とするダイレクト増幅比較

カテゴリ: PCR

キーワード: PCR、阻害物質耐性、遺伝子検査、ダイレクトPCR

データソース: タカラバイオ株式会社

方法:

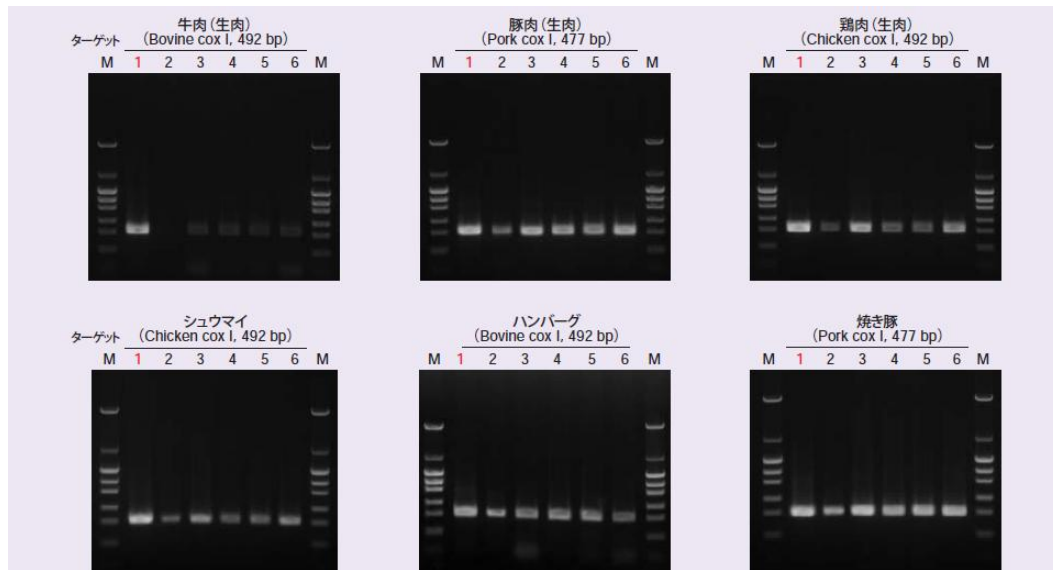
生肉(牛肉、豚肉、鶏肉)および食肉加工食品(シュウマイ、ハンバーグ、焼き豚)からアルカリ熱抽出*を行ってDNA抽出液を取得した。

これらを鋳型として各種PCR酵素を用いた増幅を行い(抽出液1 μl/ 20 μl反応系)、クルードな鋳型サンプルに対する反応性を比較した。

* アルカリ熱抽出: NaOH存在下で95°C10分処理→中和→遠心上清を回収

結果:

MightyAmp® DNA Polymerase (製品コード [R071A](#)) は、全てのDNA抽出液で非常に高い反応性を示した。他のPCR酵素が著しい反応阻害を受けた生牛肉からの抽出液を鋳型とした場合でも、MightyAmp®では良好な増幅が可能だった。また、PrimeSTAR®シリーズのPCR酵素(製品コード [R010A](#), [R045A](#), [R050A](#)) は総じてクルードな鋳型に対しても良好な反応性を示した。



- 1 : MightyAmp® DNA Polymerase
 - 2 : TaKaRa Ex Taq® HS
 - 3 : PrimeSTAR® HS
 - 4 : PriemSTAR® GXL 標準プロトコール
 - 5 : PrimeSTAR® GXL 高速プロトコール
 - 6 : PrimeSTAR® Max
 - M : pHY Marker(製品コード [3404A](#))
- 1% Agarose L03、アプライ量 : 反応液 3 μl

備考: